【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成19年6月7日(2007.6.7)

【公開番号】特開2005-27975(P2005-27975A)
【公開日】平成17年2月3日(2005.2.3)
【年通号数】公開・登録公報2005-005
【出願番号】特願2003-272533(P2003-272533)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　7/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　7/02　３０８Ｇ

【手続補正書】
【提出日】平成19年4月10日(2007.4.10)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
遊技者による操作手段の操作に応じて所定の動作を実行する動作実行手段を備えた遊技機において、
遊技者による前記操作手段への接触の有無と、所定条件の成立によって生じる擬似的接触とを判別する判別手段と、
前記判別手段により遊技者による操作手段への接触と判別された場合に前記動作実行手段を制御する動作制御手段と
を備えていることを特徴とする遊技機。
【請求項２】
請求項１に記載の遊技機において、
前記動作実行手段は、遊技者による前記操作手段の操作に応じて遊技球を遊技領域に発射するための遊技球発射手段であることを特徴とする遊技機。
【請求項３】
請求項１または請求項２に記載の遊技機において、
前記判別手段は、遊技者による接触／非接触を検出する接触検出手段と、前記接触検出手段からの信号が入力される入力部を備え、前記入力部からの入力信号と、基準信号とを比較する比較手段と、前記所定条件の成立の場合に前記比較手段の入力部への信号入力レベルを変更する信号レベル変換手段とを備えている
ことを特徴とする遊技機。
【請求項４】
請求項３に記載の遊技機において、
前記比較手段は、前記接触検出手段からの信号が入力される前記入力部としての第１入力部と、基準信号が入力される第２入力部とを備え、これらの入力を比較するものであり、
前記信号レベル変換手段は、前記所定条件の成立の場合に前記比較手段の第１入力部への信号入力レベルを変更することを特徴とする遊技機。
【請求項５】
請求項１から請求項４のいずれか一つに記載の遊技機において、
さらに、前記操作手段が、前記動作実行手段の作動を停止する停止位置に戻っているこ

とを検出可能な停止位置検出手段を備え、
前記動作制御手段は、前記停止位置検出手段での結果および前記検出手段での検出結果に基づいて前記動作実行手段を制御することを特徴とする遊技機。